

岬町障害者施策推進協議会 会議録

日 時 令和6年1月22日（月）午後2時00分～午後3時30分
場 所 岬町役場2階会議室

開 会

○事務局より、委員14名中、10名の出席があり岬町障害者施策推進協議会条例施行規則第2条第2項の規定により本会が成立していることを報告。
資料等の確認を行った後、議事進行を本協議会条例施行規則第2条の規定により、本協議会会長である山崎委員にお願いした。

議 事

1 アンケート結果について

事務局より、資料1に従い説明を行った。

会長は、事務局の報告を受け、委員に意見・質問はないか尋ねた。

○委員

地域拠点事業である「阪南岬あんしんネット」についての認知度であるが、名前も内容も知らないと答えた方が7割以上となっている。周知不足を実感している。周知方法についても検討が必要だと感じた。短期入所の事業所をしているが、短期入所の事業所としても周知について検討が必要であると感じた。

○委員

アンケートをきっかけに住民の皆さまに知る機会につながったのではないかと周知について十分に検討していただきたい。

○委員

自由記述欄で生活道路についての要望があるがいかがか。

○事務局

道路は管理している国、府、町とあるが、岬町道路公園等不具合通報システムにより町の担当であれば現場確認を行い対応の検討を行う。町の管理でない場合は関係機関につなぐことをしている。

○委員

自由記述欄でコミュニティバスについての要望があるがいかがか。

○事務局

移動支援については買い物、通院について地域の困り事は地域で解決できるよう地域づくりが行われているところである。

○委員

コミュニティバスについては減便のはなしはでていないが、増便の話にもいたっていない。交通のための会議を行っているため、住民の皆さまが使いやすいコミュニティバスについてのあり方については検討を重ねたい。

○委員

住民の支援を行っている。住んでいる自治区内で行っており、買いもの移動を支援している。要望はあるが利用者は少ない。コミュニティバスについても稼働率が伴わないと予算化も困難でないかと感じる。必要性に合わせた路線というものを検討していただきたいと感じる。

○委員

通勤、通学、病院、買いものなどさまざまなニーズがあるため、担当課と共有したい。

○委員

アンケートについて有効回答率が低い。とくに障害児アンケートについて対象者が44票、有効回答票10票。個別の訪問やアンケート調査についてのあり方を検討していただきたい。

また、ニーズについても細かく精査する必要があると感じた。買い物ひとつにとってもコミュニケーションを望むのか、生活に必要な物を手に入れたいのか、コミュニケーションであれば地域のコミュニティの充実が必要であるし、手に入れるためであればICTの活用、インターネットなど手段の活用を検討すべきでないかと感じた。

○事務局

アンケートの回答率については事務局でもこのたびの結果で検討が必要であると考えている。インターネットでの回答方法など次回に向けて検討を重ねた

い。

2 第7期障害福祉計画・第3期障害児福祉計画（素案）について
事務局より、資料2に従い説明を行った。

修正：

・49頁幼児期の学校教育・保育 提供体制の確保について

下段量の見込令和3年度実績 1号118 2号142 3号1・2歳54

3号0歳22 令和4年度実績1号100 令和5年度1号81 2号12

4 3号1・2歳70 3号0歳21

・52頁放課後児童健全育成事業（学童保育）

令和3年度実績158 令和4年度実績179

会長は、事務局の報告を受け、委員に意見・質問はないか尋ねた。

○委員

就労選択支援のサービス概要についてどのようなものか。

○事務局

就労を希望する利用者と各就労支援のあいだでのアセスメントの支援である。アセスメントにおいて本人のスキルや特性、強み弱みなどをもとになにに繋ぐか関係機関ともに協議します。開設事業所の情報が無いためイメージしにくいですが、開設する事業所の情報などは計画相談員等に情報提供をおこなう予定である。

○委員

共同生活援助について見込みとして増加傾向であるが、開設などの情報があるか。

○事務局

現在岬町内における事業所は社会福祉法人全電通近畿社会福祉事業団愛の家である。岬町としては町内の社会資源が少ないが知的障害者の実績から利用が見込まれているため、周辺自治体の情報を把握し、情報を共有し、利用希望のかたへ情報を提供するように努めたい。

○委員

グループホームを運営しているが老朽化している現状もあり、岬町内の空き家の活用を考えているため、情報があれば役場と共有したいと考えている。

ただ、グループホームを運営するにあたり、周辺住民の理解が十分に必要のため障害者の理解啓発について努めていきたい。

また、雇用について岬町内で働ける場所について検討いただき、提供いただければと思う。

障害福祉人材の確保についても具体的な取組を積極的に提示していただけたいと思う。

○事務局

メールにて大阪府、また厚労省の補助金事業である「障がい福祉分野のICT導入モデル補助金」の周知を図ったところであるが活用しやすいように大阪府からも十分に情報提供いただき、活用できるよう取り組んでいきたい。介護人材についても障害福祉分野だけでなく介護人材の担当とも情報連携し、取り組んでいけるように検討したい。また、優先調達については1年に一度町内の就労の事業所に提案していただいた内容を庁内で共有しているところであるため今後も積極的に就労事業所の情報を提供したいと思う。

3 パブリックコメントについて

事務局より、資料3に従い説明を行った。

会長は、事務局の報告を受け、委員に意見・質問はないか尋ねた。

○会長

無ければ次にいかせていただきます。

4 計画策定スケジュール（案）について

事務局より、資料4に従い説明を行った。

会長は、事務局の報告を受け、委員に意見・質問はないか尋ねた。

○会長

無ければ次にいかせていただきます。

5 その他

特に意見が無かったため、協議会を閉会。